

事業進捗確認結果様式（茨城県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道4号	春日部古河バイパス	自：埼玉県春日部市 至：茨城県古河市	H18年度 事業化 H18年度 工事着手	352 352	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約71% (令和5年3月時点)  春日部市下柳～古河市柳橋のうち L=21.5km ～H27年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・工事推進： 幸主地区改良工 元栗橋地区改良工、橋梁下部工	・今後も、技術の進展に伴う新技術・ 新工法の採用など、コスト縮減に務め ながら引き続き事業を推進していく。
国道6号	千代田石岡バイパス	自：茨城県かすががうら市 至：茨城県石岡市	H10年度 事業化 H15年度 用地着手 H16年度 工事着手	392 392	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経 済情勢等に変化が見られない。	用地進捗率：約96% 事業進捗率：約72% (令和5年3月時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 東田中地区ほか用地買収 ・工事推進： 市川地区ほか改良工 東田中高架橋ほか橋梁下部工 玉里高架橋上部工	・ICT土工を全面導入し、作業の省力 化等を図っている。今後は、土工の 他、舗装工にもICTを全面活用し、生 産性の向上による労務費などのコスト 縮減を図っていく予定。
国道6号	牛久土浦バイパス	自：茨城県牛久市 至：茨城県牛久市  自：茨城県つくば市 至：茨城県土浦市	H4年度 事業化 H10年度 用地着手 H11年度 工事着手	370 370	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経 済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約99% 事業進捗率：約83% (令和5年3月時点)  牛久市遠山町～土浦市中村西根のうち L=5.2km ～R3年度までに一部供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： つくば地区用地買収 ・工事推進： 環境整備	・今後も、技術の進展に伴う新技術・ 新工法の採用など、コスト縮減に務め ながら引き続き事業を推進していく。
国道6号	牛久土浦バイパス（Ⅱ期）	自：茨城県つくば市 至：茨城県つくば市  自：茨城県土浦市 至：茨城県土浦市	H26年度 事業化 H28年度 用地着手 H30年度 工事着手	220 220	・事業をめぐる社会経済情勢の変化が ない。	用地進捗率：約95% 事業進捗率：約67% (令和5年3月時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： つくば地区ほか用地買収 ・工事推進： つくば地区ほか改良工、 橋梁上部工	・西根南高架橋の形式検討において、 直橋（L=29.5m）から斜橋 （L=23.5m）にすることで橋長短縮と なり、桁輸送の効率化や材 料費の省力化を図り、引き続き新たな コスト縮減に努める。
国道6号	牛久土浦バイパス（Ⅲ期）	自：茨城県牛久市 至：茨城県つくば市	H30年度 事業化 R3年度 用地着手	380 380	・社会情勢等に大きな変化は見られな い。	用地進捗率：約39% 事業進捗率：約7% (令和5年3月時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 牛久地区ほか用地買収 ・工事推進： 環境整備	・今後も、技術の進展に伴う新技術・ 新工法の採用など、コスト縮減に務め ながら引き続き事業を推進していく。
国道6号	酒門町交差点立体	自：茨城県水戸市 至：茨城県水戸市	R3年度 事業化	60 60	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経 済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約3% (令和5年3月時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等 による新たなコスト縮減に努めながら事 業を推進していく。

事業進捗確認結果様式（茨城県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道6号	東海拡幅	自：茨城県那珂市 至：茨城県東海村	H31年度 事業化 R2年度 用地着手	110 110	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約7% 事業進捗率：約9% (令和5年3月時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 石神外宿地区ほか用地買収 ・工事推進： 環境整備	・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。
国道6号	大和田拡幅	自：茨城県日立市 至：茨城県日立市	H18年度 事業化 H22年度 用地着手 H23年度 工事着手	211 211	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化は見られない。	用地進捗率：約74% 事業進捗率：約55% (令和5年3月時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 大和田地区ほか用地買収 ・工事推進： 大和田地区ほか改良工	・国道拡幅に伴い架け替えが必要となる跨道橋および側道橋において、既設跨道橋の橋台前面に鋼管連続壁を設置することで橋梁の架け替えを回避。
国道6号	日立バイパス（Ⅱ期）	自：茨城県日立市 至：茨城県日立市	H24年度 事業化 H27年度 用地着手	240 240	・前回再評価に対し、周辺の交通量の増加に伴い、総便益が増加。 ※その他の社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：約58% 事業進捗率：約16% (令和5年3月時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 会瀬地区ほか用地買収 ・工事推進： 環境整備	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道6号	勿来バイパス	自：茨城県北茨城市 至：福島県いわき市	H27年度 事業化 H29年度 用地着手 R元年度 工事着手	282 282	・事業目的である、混雑の緩和、防災機能の強化、救急医療活動の支援等の必要な状況は変化していない。	用地進捗率：約97% 事業進捗率：約41% (令和5年3月時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 関本地区用地買収 ・工事推進： 関本地区改良工	・防草対策の見直しによるコスト縮減を図っている。
国道50号	桜川筑西 I C 関連（延伸）	自：茨城県桜川市 至：茨城県桜川市	H21年度 事業化 H22年度 用地着手 R元年度 工事着手	22 22	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化が見られない。	用地進捗率：約91% 事業進捗率：約88% (令和5年3月時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 長方地区用地買収 ・工事推進： 長方地区改良工 ・桜川市 L=1.2km(4/4) 令和7年春頃 開通予定 (用地取得が順調に進んだ場合)	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道50号	協和バイパス	自：茨城県筑西市 至：茨城県桜川市	R2年度 事業化 R4年度 用地着手	350 350	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約1% 事業進捗率：約1% (令和5年3月時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 長方地区ほか用地買収	・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

事業進捗確認結果様式（茨城県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道50号	下館バイパス	自：茨城県筑西市 至：茨城県筑西市	S61年度 事業化 H元年度 用地着手 H2年度 工事着手	465 465	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化が見られない。	用地進捗率：約95% 事業進捗率：約84% (令和5年3月時点)  筑西市布川～筑西市横塚のうち L=7.6km ～H26年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 玉戸地区ほか用地買収 ・工事推進： 玉戸地区改良工、下館跨線橋ほか 橋梁下部工 下館跨線橋上部工着手	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道50号	結城バイパス	自：茨城県結城市 至：茨城県筑西市	S54年度 事業化 S55年度 用地着手 S55年度 工事着手	334 334	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化が見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約84% (令和5年3月時点)  結城市小田林～筑西市布川のうち L=7.7km ～H16年度までに供用済  結城市～筑西市 L=2.8km (4/4) 令和5年5月27日 開通	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・工事推進： 下川島地区改良工、舗装工	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道51号	潮来バイパス	自：茨城県潮来市 至：茨城県潮来市	H17年度 事業化 H21年度 用地着手 H23年度 工事着手	31 31	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化が見られない。	用地進捗率：約99% 事業進捗率：約89% (令和5年3月時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 小泉南地区ほか用地買収 ・工事推進： 小泉南地区ほか改良工	・分断される市道の機能確保について、横断箇所を集約し、横断ボックス3箇所から、跨道橋1箇所に見直し。

## 事業進捗確認結果様式（栃木県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道4号	矢板拡幅	自：栃木県矢板市 至：栃木県矢板市	H27年度 事業化 H31年度 用地着手	218 218	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：約49% 事業進捗率：約9% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 片岡地区ほか用地買収 ・工事推進： 前岡地区改良工事着手	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道4号	矢板大田原バイパス	自：栃木県矢板市 至：栃木県那須塩原市	H31年度 事業化	400 400	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：0% 事業進捗率：約2% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 土屋地区用地買収着手	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道4号	西那須野道路	自：栃木県那須塩原市 至：栃木県那須塩原市	H18年度 事業化 H21年度 用地着手 H29年度 工事着手	205 205	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化は見られない。	用地進捗率：約100% 事業進捗率：約89% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 三島地区ほか公共補償 ・工事推進： 三区町地区電線共同溝工 西富山地区改良工 烏ヶ森公園歩道橋工	・今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業進捗確認結果様式（群馬県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や 代替案等の可能性
国道17号	上武道路	自：埼玉県熊谷市 至：群馬県前橋市	S45年度 事業化 S49年度 用地着手 S50年度 工事着手	1,890 1,890	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約91% (令和5年3月末時点)  熊谷市西別府～前橋市田口町まで L=40.5km ～H29年度までに暫定供用済(全線開通)  前橋市上泉町～同市鳥取町 L=2.6km(4/4) 令和3年9月10日開通済 前橋市鳥取町～同市上細井町 L=2.1km(4/4) 令和5年2月28日開通済	R5年度は以下の内容を実施 調査推進： 調査設計 工事推進： 今井地区ほか橋梁下部工、橋梁上部工 今井地区ほか改良工 今井地区ほか舗装工  前橋市今井町～同市富田町、 前橋市上泉町～同市上細井町 L=7.1km(4/4) 令和3年度～令和5年度 順次4車線化完成予定	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道17号	高松立体	自：群馬県高崎市 至：群馬県高崎市	H11年度 事業化 H12年度 用地着手 H12年度 工事着手	120 120	・社会情勢について大きな変化は見られない。	用地進捗率：約92% 事業進捗率：約99% (令和5年3月末時点)  高崎市宮元町～高崎市並榎町のうち L=1.1km(立体部) ～H19年度供用済 L=0.3km(拡幅部) ～R3年度供用済	・R5年度は以下の内容を実施 調査推進： 調査設計 工事推進： 環境整備	・新技術の積極的な活用等により、コスト削減に取り組む。
国道17号	群馬大橋拡幅	自：群馬県前橋市 至：群馬県前橋市	H1年度 事業化 H2年度 用地着手 H5年度 工事着手	300 300	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：約65% 事業進捗率：約60% (令和5年3月末時点)  前橋市元総社町一丁目 ～前橋市本町一丁目のうち L=1.2km ～H23年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 調査推進： 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進していく。
国道17号	中村交差点立体	自：群馬県渋川市 至：群馬県渋川市	R4年度 事業化	30 30	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約2% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 調査推進： 調査設計 工事推進： 中村地区改良工事着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進していく。

事業進捗確認結果様式（群馬県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道17号	渋川西バイパス	自：群馬県渋川市 至：群馬県渋川市	H16年度 事業化 H25年度 用地着手（バイパス区間） H22年度 工事着手（現道拡幅区間）	250 250	・地元情勢の変化等事業を巡る社会情勢などに変化は見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約83% (令和5年3月末時点)  渋川市中村～渋川市金井のうち L=0.9km ～H25年度一部供用済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5年度は以下の内容を実施</li> <li>調査推進：調査設計</li> <li>用地買収推進：入沢地区ほか公共補償</li> <li>工事推進：入沢地区函渠工 金井地区ほか改良工 金井地区舗装工</li> <li>渋川市渋川～同市金井 L=1.9km (2/4) 令和7年度 開通予定</li> </ul>	・排水構造物等の見直しや地盤改良工法の見直しにより、コスト縮減を図っていく。
国道17号	綾戸バイパス	自：群馬県渋川市 至：群馬県沼田市	H4年度 事業化 H22年度 用地着手 R2年度 工事着手	157 157	社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：約83% 事業進捗率：約21% (令和5年3月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5年度は以下の内容を実施</li> <li>調査推進：調査設計</li> <li>用地買収推進：上白井地区ほか用地買収</li> <li>工事推進：棚下地区橋梁下部工</li> </ul>	・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。
国道18号	高崎安中拡幅	自：群馬県高崎市 至：群馬県安中市	S58年度 事業化 S60年度 用地着手 H1年度 工事着手	422 422	社会情勢について大きな変化は見られない。	用地進捗率：約99% 事業進捗率：約96% (令和5年3月末時点)  高崎市上豊岡町 ～安中市安中四丁目のうち L=5.4km ～H27年度までに供用済	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5年度は以下の内容を実施</li> <li>調査推進：調査設計</li> <li>用地買収推進：安中地区用地買収</li> <li>工事推進：安中地区改良工着手</li> </ul>	・新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。
国道50号	前橋笠懸道路	自：群馬県前橋市 至：群馬県みどり市	H13年度 事業化 H21年度 用地着手 H24年度 工事着手	427 427	社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：約46% 事業進捗率：約38% (令和5年3月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5年度は以下の内容を実施</li> <li>調査推進：調査設計</li> <li>用地買収推進：香林地区ほか用地買収</li> <li>工事推進：鐘木川橋下部工着手 赤堀今井地区改良工着手 二之宮地区改良工 二之宮地区舗装工</li> </ul>	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道17号	本庄道路	自：埼玉県本庄市 至：群馬県高崎市	H15年度 事業化 H23年度 用地着手 H25年度 工事着手	362 362	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化は見られない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地進捗率：約95%</li> <li>事業進捗率：約60% (令和5年3月末時点)</li> <li>埼玉県児玉郡上里町～群馬県高崎市 L=1.4km (2/4) 令和4年12月3日 神流川橋開通済</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5年度は以下の内容を実施</li> <li>調査推進：調査設計</li> <li>用地買収推進：新町地区用地買収</li> <li>工事推進：新町地区改良工</li> </ul>	・神流川橋の架設にあたり、仮橋設置工法から河川切り廻し工法への見直しによるコスト縮減。

事業進捗確認結果様式（埼玉県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道4号	東埼玉道路（延伸）	自：埼玉県吉川市 至：埼玉県春日部市	H20年度 事業化 H23年度 用地着手 H29年度 工事着手	267 267	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：約98% 事業進捗率：約87% (令和5年3月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5年度は以下の内容を実施</li> <li>調査推進：調査設計</li> <li>用地買収推進：松伏地区用地買収</li> <li>工事推進：松伏地区ほか改良工、大落古利根川橋ほか橋梁下部工、橋梁上部工、松伏地区舗装工</li> <li>吉川市～松伏町 L=3.8km (2/2) 令和7年春頃開通予定 (用地取得等が順調に進んだ場合)</li> </ul>	・東埼玉道路の路肩排水施設は、暗渠タイプの側溝を採用している。 ・排水構造物について、従来の「街渠縦断管」から経済性、集水性、施工性で有利である「都市型側溝」に見直しを行った。
国道17号	上尾道路	自：埼玉県さいたま市 至：埼玉県桶川市	H2年度 事業化 H9年度 用地着手 H14年度 工事着手	1,211 1,211	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地進捗率：約99%</li> <li>事業進捗率：約93% (令和5年3月末時点)</li> </ul> さいたま市西区宮前町～桶川市川田谷のうち L=1.0km ～H28年度までに供用済	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5年度は以下の内容を実施</li> <li>調査推進：調査設計</li> <li>用地買収推進：川田谷地区用地買収</li> <li>工事推進：環境整備</li> </ul>	新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。
国道17号	上尾道路（Ⅱ期）	自：埼玉県北本市 至：埼玉県鴻巣市	H23年度 事業化 H27年度 用地着手 R1年度 工事着手	670 670	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化は見られない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地進捗率：約28%</li> <li>事業進捗率：約27% (令和5年3月末時点)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5年度は以下の内容を実施</li> <li>調査推進：調査設計</li> <li>用地買収推進：滝馬室地区ほか用地買収</li> <li>工事推進：箕田地区ほか改良工、箕田地区橋梁上部工</li> </ul>	JR跨線橋橋長見直しや新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。
国道17号	本庄道路	自：埼玉県本庄市 至：群馬県高崎市	H15年度 事業化 H23年度 用地着手 H25年度 工事着手	362 362	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化は見られない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地進捗率：約95%</li> <li>事業進捗率：約60% (令和5年3月末時点)</li> </ul> ・埼玉県児玉郡上里町～群馬県高崎市 L=1.4km (2/4) 令和4年12月3日 神流川橋開通済	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5年度は以下の内容を実施</li> <li>調査推進：調査設計</li> <li>用地買収推進：金久保地区ほか用地買収</li> <li>工事推進：神保原地区ほか改良工、御陣場川橋ほか橋梁下部工、御陣場川橋橋梁上部工</li> </ul>	・神流川橋の架設にあたり、仮橋設置工法から河川切り廻し工法への見直しによるコスト縮減。

## 事業進捗確認結果様式（埼玉県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や 代替案等の可能性
国道17号	本庄道路（Ⅱ期）	自：埼玉県深谷市 至：埼玉県本庄市	R4年度 事業化	300 300	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化は見られない。	・用地進捗率：0% ・事業進捗率約1% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計	・新技術の積極的な活用等により、コスト削減に取り組む。
国道17号	上武道路	自：埼玉県熊谷市 至：群馬県前橋市	S45年度 事業化 S49年度 用地着手 S50年度 工事着手	1,890 1,890	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	・用地進捗率：100% ・事業進捗率：約91% (令和5年3月末時点)  熊谷市西別府～前橋市田口町のうち L=40.5km ～R3年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。



## 事業進捗確認結果様式（さいたま市）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道17号	与野大宮道路	自：埼玉県さいたま市 至：埼玉県さいたま市	H6年度 事業化 H7年度 用地着手 H10年度 工事着手	190 190	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	・用地進捗率：約75% ・事業進捗率：約80% (令和5年3月末時点)  さいたま市中央区下落合 ～さいたま市中央区上落合のうち L=0.7km ～H18年度供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計	・新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。
国道17号	上尾道路	自：埼玉県さいたま市 至：埼玉県桶川市	H2年度 事業化 H9年度 用地着手 H14年度 工事着手	1,211 1,211	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	・用地進捗率：約99% ・事業進捗率：約93% (令和5年3月末時点)  さいたま市西区宮前町 ～桶川市川田谷のうち L=11.0km ～H28年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・工事推進： 環境整備	・新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。
国道17号	新大宮バイパス	自：東京都練馬区 至：埼玉県さいたま市	S39年度 事業化 S39年度 用地着手 S39年度 工事着手	800 800	・事業を巡る社会経済情勢の変化がない。	・用地進捗率：約99% ・事業進捗率：約89% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計	・引き続きコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

事業進捗確認結果様式（千葉県）

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や 代替案等の可能性	
国道298号 東京外かく環状道路 (千葉県区間)	自：千葉県松戸市 至：千葉県市川市	S45年度 事業化 S48年度 用地着手 S53年度 工事着手	5,725 5,725	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約99% (令和5年3月末時点)  松戸市小山～市川市高谷のうち L=12.1km ～H30年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 市川地区用地補償 ・工事推進： 市川地区電線共同溝工	・新技術の積極的な活用等により、コスト削減に取り組む。	
国道51号	北千葉拡幅	自：千葉県千葉市 至：千葉県佐倉市	S46年度 事業化 S48年度 用地着手 S57年度 工事着手	257 257	・社会情勢について大きな変化は見られない。	用地進捗率：約85% 事業進捗率：約93% (令和5年3月末時点)  千葉市若葉区貝塚町 ～佐倉市馬渡のうち L=3.8km ～H21年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 吉岡～馬渡地区用地買収 ・工事推進： 南波佐間地区改良工	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道51号	成田拡幅	自：千葉県成田市 至：千葉県成田市	S45年度 事業化 S46年度 用地着手 S46年度 工事着手	263 263	・社会情勢等について大きな変化は見られない。	用地進捗率：約99% 事業進捗率：約94% (令和5年3月末時点)  成田市飯仲～成田市東金山のうち L=4.6km ～H14年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 並木地区用地買収 ・工事推進： 東金山地区ほか改良工、舗装工	技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道51号	大栄拡幅	自：千葉県成田市 至：千葉県成田市	S63年度 事業化 H17年度 用地着手 H30年度 工事着手	60 60	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化が見られない。	用地進捗率：約97% 事業進捗率：約72% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 桜田地区用地買収 ・工事推進： 桜田地区ほか改良工	技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道357号	東京湾岸道路 (千葉県区間)	自：千葉県千葉市 至：千葉県浦安市	S45年度事業化 S45年度用地着手 S47年度工事着手	1,940 1,940	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化が見られない。	用地進捗率：約99% 事業進捗率：約70% (令和5年3月末時点)  千葉市美浜区稲毛海岸～浦安市舞浜のうち L=24.2km 供用済み	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 船橋地区公共補償 ・工事推進： 海老川大橋下部工 末広大橋上部工着手 塩浜地区橋梁上部工着手 塩浜地区ほか改良工	・海老川大橋河川部の上部工架設工法の変更によるコスト削減を検討。
国道464号	北千葉道路(市川・松戸)	自：千葉県市川市 至：千葉県市川市	R3年度 事業化	1,900 1,900	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：0% 事業進捗率：約1% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進していく。

事業進捗確認結果様式（千葉県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道464号	北千葉道路	自：千葉県印西市 至：千葉県成田市	H17年度 事業化 H17年度 用地着手 H17年度 工事着手	534 534	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約85% (令和5年3月末時点)  印西市若萩～成田市押畑のうち L=5.6km ～H31年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・工事推進： 北須賀地区ほか改良工	・今後も、技術の進展に伴う新技術・ 新工法の採用など、コスト縮減に努め ながら引き続き事業を推進していく。

## 事業進捗確認結果様式（千葉市）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道357号	東京湾岸道路 (千葉県区間)	自：千葉県千葉市 至：千葉県浦安市	S45年度 事業化 S45年度 用地着手 S47年度 工事着手	1,940 1,940	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化が見られない。	用地進捗率：約99% 事業進捗率：約70% (令和5年3月末時点)  千葉県美浜区稲毛海岸～浦安市舞浜のうち L=24.2km 供用済み	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計	・海老川大橋河川部の上部工架設工法の変更によるコスト縮減を検討。
国道357号	湾岸千葉地区改良 (蘇我地区)	自：千葉県千葉市 至：千葉県千葉市	H29年度 事業化	265 265	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：0% 事業進捗率：約7% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 蘇我地区用地買収 ・工事推進： 環境整備	・今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道51号	北千葉拡幅	自：千葉県千葉市 至：千葉県佐倉市	S46年度 事業化 S48年度 用地着手 S57年度 工事着手	257 257	・社会情勢について大きな変化は見られない。	用地進捗率：約85% 事業進捗率：約93% (令和5年3月末時点)  千葉県若葉区貝塚町～佐倉市馬渡のうち L=3.8km ～H21年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・工事推進： 環境整備	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。

## 事業進捗確認結果様式（東京都）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道6号	新宿拡幅	自：東京都葛飾区 至：東京都葛飾区	【金町地区】 S45年度 事業化 S48年度 用地着手 S60年度 工事着手 【新宿地区】 S58年度 事業化 H17年度 用地着手 H27年度 工事着手	337 337	・社会情勢等について大きな変化は見られない。	用地進捗率：約93% 事業進捗率：約78% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 新宿地区用地買収 ・工事推進： 新宿地区改良工	・引き続きコスト縮減に努めながら事業を推進していく。
国道14号	両国拡幅	自：東京都中央区 至：東京都墨田区	H10年度 事業化 H24年度 用地着手 H29年度 工事着手	250 250	・地元情勢の変化等、事業を巡る社会情勢等に変化は見られない。	用地進捗率：約30% 事業進捗率：約47% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 緑地区ほか用地買収 ・工事推進： 環境整備	・引き続きコスト縮減に努めながら事業を推進していく。
国道14号	亀戸小松川立体	自：東京都江東区 至：東京都江戸川区	【亀戸地区】 S60年度 事業化 S62年度 用地着手 H11年度 工事着手 【小松川地区】 H1年度 事業化 H14年度 用地着手 H27年度 工事着手	417 417	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：約46% 事業進捗率：約43% (令和5年3月末時点)  江東区亀戸9丁目 ～江戸川区大杉1丁目のうち L=1.3km ～H22年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 小松川地区用地買収 ・工事推進： 境川橋撤去工 小松川地区改良工	・新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。
国道16号	八王子～瑞穂拡幅	自：東京都八王子市 至：東京都瑞穂町	S47年度 事業化 S52年度 用地着手 S54年度 工事着手	947 947	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：約98% 事業進捗率：約92% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計	・引き続きコスト縮減に努めながら事業を推進していく。
国道16号	保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)	自：東京都町田市 至：東京都町田市	H14年度 事業化 H15年度 用地着手 H15年度 工事着手	643 643	・社会情勢について大きな変化は見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約97% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・工事推進： 町田地区舗装工	・技術の進展に伴う新工法の活用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。
国道17号	新大宮バイパス	自：東京都練馬区 至：埼玉県さいたま市	S39年度 事業化 S39年度 用地着手 S39年度 工事着手	800 800	・事業を巡る社会経済情勢の変化がない。	・用地進捗率：約99% ・事業進捗率：約89% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・工事推進： 下赤塚高架橋下部工	・引き続きコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

## 事業進捗確認結果様式（東京都）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や 代替案等の可能性
国道20号	日野バイパス（延伸）	自：東京都日野市 至：東京都日野市	H17年度 事業化 H18年度 用地着手	340 340	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約98% 事業進捗率：約91% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 西平山地区ほか用地買収 ・工事推進： 川辺堀之内地区ほか改良工 川辺堀之内地区電線共同溝工	・引き続きコスト削減に努めながら事業を推進していく。
国道20号	日野バイパス（延伸）Ⅱ期	自：東京都日野市 至：東京都八王子市	H29年度 事業化 R1年度 用地着手	300 300	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約11% 事業進捗率：約4% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 西平山地区用地買収	・引き続きコスト削減に努めながら事業を推進していく。
国道20号	八王子南バイパス	自：東京都八王子市 至：東京都八王子市	H9年度 事業化 H10年度 用地着手 H13年度 工事着手	2,142 2,142	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約98% 事業進捗率：約58% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 片倉地区ほか用地買収 ・工事推進： 館町地区ほか改良工 館町地区ほか橋梁上部工 館町地区トンネル工	・高架橋において非合成箱桁を合成箱桁に変更、現場打ちPC床版を合成床版に変更、トンネルにおいて地中連続壁の施工方法変更よりコスト削減。
国道357号	東京湾岸道路（東京都区間）	自：東京都江戸川区 至：東京都大田区	昭和43年度 事業化 昭和46年度 用地着手 昭和46年度 工事着手	4,793 4,793	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約53% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 【多摩川トンネル】 ・調査推進： 調査設計 ・工事推進： 羽田地区改良工 【辰巳・東雲・有明立体】 ・調査推進： 調査設計 ・工事推進： 有明地区ほか橋梁下部工、改良工	・多摩川トンネルにおいて、建設発生土の処分先の変更、シールドトンネルのインバート見直し、トンネル内装工の見直し、シールドトンネルの舗装の見直し及び設備ケーブル、消火用水系統の見直しにより、コスト削減に取り組んでいく。

## 事業進捗確認結果様式（神奈川県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道246号	厚木秦野道路	・ 厚木区間 自：神奈川県厚木市 至：神奈川県厚木市 ・ 伊勢原区間 自：神奈川県伊勢原市 至：神奈川県伊勢原市	H10年度 事業化 H13年度 用地着手 H26年度 工事着手  ※厚木区間 H13年度 事業化 伊勢原区間 H10年度 事業化	900 900	・ 地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約83% 事業進捗率：約62% (令和5年3月末時点)	・ R5年度は以下の内容を実施 ・ 調査推進： 調査設計 ・ 用地買収推進： 厚木地区ほか用地買収 ・ 工事推進： 伊勢原地区ほか改良工 厚木地区橋梁下部工 伊勢原第一トンネル工着手	盛土構造区間の地盤状況や交差施設の重要度に着目し、道路構造の見直しにより事業費の縮減ならびに周辺環境変化の抑制を図ることを検討。
国道246号	厚木秦野道路 (伊勢原西～秦野中井)	自：神奈川県伊勢原市 至：神奈川県秦野市	H26年度 事業化 H30年度 用地着手	300 300	・ 地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約7% 事業進捗率：約10% (令和5年3月末時点)	・ R5年度は以下の内容を実施 ・ 調査推進： 調査設計 ・ 用地買収推進： 秦野地区ほか用地買収	・ 技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。
国道246号	秦野IC関連	自：神奈川県秦野市 至：神奈川県秦野市	H13年度 事業化 H25年度 用地着手 H29年度 工事着手	105 105	・ 社会情勢等について大きな変化は見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約99% (令和5年3月末時点)	・ R5年度は以下の内容を実施 ・ 調査推進： 調査設計 ・ 工事推進： 秦野西IC改良工	・ 技術の進展に伴う新工法の採用などによる新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。
国道357号	東京湾岸道路 (神奈川県区間)	自：神奈川県川崎市 至：神奈川県横須賀市	S52年度～R元年度事業化 S53年度 工事着手 S56年度 用地着手	3,190 3,190	・ 地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約96% 事業進捗率：約51% (令和5年3月末時点)	・ R5年度は以下の内容を実施 ・ 調査推進： 調査設計 ・ 工事推進： 夏島地区改良工	・ 多摩川トンネルについては、本線トンネルのインバート現場打ち、シールドトンネル部の舗装の変更、設備ケーブル・消化用配水系統の見直し、トンネル内装工の見直しおよび建設発生土の処分先変更により、コスト縮減を推進。 引き続きコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

## 事業進捗確認結果様式（横浜市）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道246号	都筑青葉地区環境整備	自：神奈川県横浜市 至：神奈川県横浜市	S50年度 事業化 S53年度 用地着手 S61年度 工事着手	590 590	・社会情勢等について大きな変化は見られない	用地進捗率：約85% 事業進捗率：約87% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 新石川地区用地買収 ・工事推進： 市ヶ尾地区改良工	・引き続きコスト縮減に努めながら事業を推進していく。
国道357号	東京湾岸道路 (神奈川県区間)	自：神奈川県川崎市 至：神奈川県横浜須賀町	S52年度～R元年度事業化 S53年度 工事着手 S56年度 用地着手	3,190 3,190	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約96% 事業進捗率：約51% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計	・多摩川トンネルについては、本線トンネルのインバート現場打ち、シールドトンネル部の舗装の変更、設備ケーブル・消化用配水系統の見直し、トンネル内装工の見直しおよび建設発生土の処分先変更により、コスト縮減を推進。 引き続きコスト縮減に努めながら事業を推進していく。



## 事業進捗確認結果様式（川崎市）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や 代替案等の可能性
国道357号	東京湾岸道路 (神奈川県区間)	自：神奈川県川崎市 至：神奈川県横須賀市	S52年度～R元年度事業化 S53年度 工事着手 S56年度 用地着手	3,190 3,190	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約96% 事業進捗率：約51% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 【多摩川トンネル】 ・調査推進： 調査設計 ・工事推進： 浮島地区改良工 【東扇島地区】 ・調査推進： 調査設計	・多摩川トンネルについては、本線トンネルのインバート現場打ち、シールドトンネル部の舗装の変更、設備ケーブル・消化用配水系統の見直し、トンネル内装工の見直しおよび建設発生土の処分先変更により、コスト削減を推進。 引き続きコスト削減に努めながら事業を推進していく。

## 事業進捗確認結果様式（山梨県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
中部横断 自動車道	中部横断自動車道 (富沢～六郷)	自：山梨県南都町 至：山梨県市川三郷町	H17年度 事業化 H18年度 用地着手 H20年度 工事着手	3,154 3,154	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化が見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約97% (令和5年3月末時点)  南巨摩郡南都町 ～西八代郡市川三郷町のうち L=28.3km ～R3年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 身延地区公共補償 ・工事推進： 身延地区ほか改良工	・第2種要対策土の処分について、 県、町との調整により、近隣の用地を 確保することで、中間処理施設から封 じ込め盛土に見直し。
国道20号	大月バイパス	自：山梨県大月市 至：山梨県大月市	S48年度 事業化 H1年度 用地着手 H7年度 工事着手	438 438	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約99% (令和5年3月末時点)  大月市駒橋～大月市大月町花咲のうち L=3.2km ～R4年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・工事推進： 大月地区ほか改良工	・今後も、技術の進展に伴う新技術・ 新工法の採用など、コスト縮減に努め ながら引き続き事業を推進していく。
国道20号	新山梨環状道路 (広瀬～桜井)	自：山梨県笛吹市 至：山梨県甲府市	H28年度 事業化 R4年度 用地着手	226 226	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化が見られない。	用地進捗率：約4% 事業進捗率：約21% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 広瀬地区ほか用地買収 ・工事推進： 環境整備	・今後も、技術の進展に伴う新技術・ 新工法の採用など、コスト縮減に努め ながら引き続き事業を推進していく。
国道20号	新山梨環状道路 (北部区間)	自：山梨県甲斐市 至：山梨県甲斐市	H16年度 事業化 H29年度 用地着手	353 353	・社会情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約1% 事業進捗率：約6% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等による 新たなコスト縮減に努めながら事業 を推進する。
国道52号	上石田改良	自：山梨県甲府市 至：山梨県甲府市	H8年度 事業化 H16年度 用地着手 H17年度 工事着手	138 138	・社会情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：約96% 事業進捗率：約99% (令和5年3月末時点)  甲府市富竹一丁目～甲府市寿町のうち L=0.75km ～H26年度までに一部供用済	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 富竹地区ほか用地買収 ・工事推進： 富竹地区ほか改良工	・今後も、技術の進展に伴う新技術・ 新工法の採用など、コスト縮減に努め ながら引き続き事業を推進していく。

## 事業進捗確認結果様式（山梨県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や 代替案等の可能性
国道138号	新屋拡幅	自：山梨県富士吉田市 至：山梨県富士吉田市	H24年度 事業化 H27年度 用地着手 H31年度 工事着手	80 80	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化が見られない。	用地進捗率：約21% 事業進捗率：約32% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 上吉田地区ほか用地買収 ・工事推進： 上吉田地区改良工 上吉田地区電線共同溝工	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道139号	都留バイパス	自：山梨県都留市 至：山梨県都留市	S49年度 事業化 S55年度 用地着手 S55年度 工事着手	310 310	・社会情勢等について大きな変化は見られない。	用地進捗率：約74% 事業進捗率：約78% (令和5年3月末時点)  都留市十日市場～都留市田野倉のうち L=6.1km ～H28年度までに一部供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・工事推進： 田原地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業進捗確認結果様式（長野県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や 代替案等の可能性
国道158号	松本波田道路	自：長野県松本市 至：長野県松本市	H8年度 事業化 H26年度 用地着手 令和2年度 工事着手	414 414	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化が見られない。	用地進捗率：約83% 事業進捗率：約22% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 波田地区ほか用地買収 ・工事推進： 波田地区ほか改良工 扇子田高架橋上部工 新村高架橋下部工	・地元調整の結果、道路構造を橋梁形式から盛土形式に変更することによりコスト削減を行った。
国道18号	上田バイパス(延伸)	自：長野県東御市 至：長野県上田市	H21年度 事業化 H23年度 用地着手 H29年度 工事着手	184 184	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化がみられない。	用地進捗率：約68% 事業進捗率：約55% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 大屋地区ほか用地買収 ・工事推進： 蒼久保地区ほか改良工 神川橋ほか橋梁上部工	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道18号	坂城更埴バイパス (坂城町区間)	自：長野県坂城町 至：長野県坂城町	H23年度 事業化 H25年度 用地着手 H29年度 工事着手	110 110	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化がみられない。	用地進捗率：約86% 事業進捗率：約46% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 上五明地区ほか用地買収 ・工事推進： 網掛地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道18号	坂城更埴バイパス(延伸)	自：長野県千曲市 至：長野県長野市	H20年度 事業化 H22年度 用地着手 H26年度 工事着手	166 166	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化がみられない。	用地進捗率：約99% 事業進捗率：約73% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 塩崎地区ほか公共補償 ・工事推進： 塩崎地区ほか改良工	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道18号	長野東バイパス	自：長野県長野市 至：長野県長野市	H12年度 事業化 H16年度 用地着手 H23年度 工事着手	225 225	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化がみられない。	用地進捗率：約98% 事業進捗率：約77% (令和5年3月末時点)  長野市北長池～長野市柳原のうち L=2.8km ～R2年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 村山地区用地買収 ・工事推進： 柳原地区ほか改良工、舗装工	・今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

## 事業進捗確認結果様式（長野県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や 代替案等の可能性
国道18号	野尻IC関連	自：長野県信濃町 至：長野県信濃町	H1年度 事業化 H5年度 用地着手 H6年度 工事着手	250 250	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：約46% 事業進捗率：約61% (令和5年3月末時点)  信濃町古間～信濃町野尻のうち L=4.3km ～H29年度までに一部供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 古間地区用地買収 ・工事推進： 環境整備	・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。
国道19号	塩尻拡幅	自：長野県塩尻市 至：長野県塩尻市	R4年度 事業化	310 310	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：0% 事業進捗率約1% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 広丘野村地区用地買収 ・工事推進： 環境整備	・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。
国道19号	松本拡幅	自：長野県松本市 至：長野県松本市	H10年度 事業化 H17年度 用地着手 H23年度 工事着手	180 180	・地元情勢の変化等事業を巡る社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：約59% 事業進捗率：約60% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 落地区ほか用地買収 ・工事推進： 落合橋ほか橋梁下部工 落合橋側道歩道橋上部工事着手	・新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。
国道20号	坂室バイパス	自：長野県茅野市 至：長野県茅野市	H10年度 事業化 H12年度 用地着手 H14年度 工事着手	231 231	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：約98% 事業進捗率：約80% (令和5年3月末時点)  茅野市金沢～茅野市宮川のうち L=3.0km ～H23年度までに供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 宮川地区ほか用地買収 ・工事推進： 環境整備	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道20号	諏訪バイパス	自：長野県諏訪市 至：長野県下諏訪町	R5年度 事業化	900 900	・地元情勢の変化等事業を巡る社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：0% 事業進捗率：0% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計	・新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。
国道20号	下諏訪岡谷バイパス	自：長野県下諏訪町 至：長野県岡谷市	H4年度 事業化 H6年度 用地着手 H10年度 工事着手	464 464	・社会情勢等に大きな変化は見られない。	用地進捗率：約95% 事業進捗率：約87% (令和5年3月末時点)  下諏訪町東町～岡谷市今井のうち L=3.7km ～H29年度までに一部供用済	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 社地区ほか用地買収 ・工事推進： 東町地区橋梁下部工 山田トンネル工	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業進捗確認結果様式（長野県）

事業名 (箇所名)		実施箇所	事業期間等	総事業費（億円） 上段：前回評価時 下段：現時点	事業を巡る 社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や 代替案等の可能性
国道158号	奈川渡改良	自：長野県松本市 至：長野県松本市	H23年度 事業化 H24年度 用地着手 H26年度 工事着手	186 186	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率：100% 事業進捗率：約63% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下の内容を実施 ・調査推進： 調査設計 ・用地買収推進： 安曇地区公共補償 ・工事推進： 安曇地区改良工 奈川渡1号トンネル工	・技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。